

75	姫街道の戦争遺跡 豊川海軍工廠	東海道では戦争遺跡によく出会う。豊川も軍施設が多く、昭和20年8月7日の空襲で2500人以上が亡くなり壊滅的な被害を受けた。	豊川	姫街道7
76	犀ヶ崖と三方原の戦い	三方原の戦いで大敗した家康。浜松城付近で野営していた信玄軍を、犀ヶ崖に布を張り橋のように見せ、だまし討ちをする。	浜松	姫街道8
77	美濃路の四川を象が渡った	姫街道は山も厳しいが大河を4つ渡らなければならない。象船が用意されたが、舟が苦手な象は揖斐川では自ら水に入り渡った。	濃尾平野	美濃路1
78	大垣は『奥の細道』むすびの地	41歳で『野ざらし紀行』の旅に出た芭蕉。46歳の時、5か月2400kmの『奥の細道』結びの地が大垣だ。ここから舟で伊勢へ向かう。	大垣	美濃路2
79	輪中—水防の知恵	濃尾平野は太古、海だった場所。木曾三川と多雨で豊富な水利の恩恵がある反面、水害が多かったが、その対策の一つが輪中だ。	大垣	美濃路3
80	美濃路の「船橋」と朝鮮通信使	大きな川でも今は簡単に橋で渡れるが、江戸時代にはなかった。将軍上洛時と朝鮮通信使の通行時に臨時に架けられたのが船橋。	起	美濃路4
81	繊維の町とモーニング	一宮市は繊維の町。繊維工場独特の鋸屋根とともに、よく目にするのが喫茶店。この二者は、実は関係が深い。	起	美濃路5
82	清洲城と清須越	信長は清洲城から桶狭間へ出陣し勝利を収めた。本能寺の変で信長が倒れると、後継者決定会議（清洲会議）が清洲城で行われた。	清洲	美濃路6
83	琉球使節も美濃路を利用した	琉球使節とは、徳川将軍の代替わり（江戸上り）と琉球国王の代替わり（謝恩使）の表敬使節の総称。計18回あり、美濃路を通った。	墨俣	美濃路7
84	尾張名古屋は城でもつ	家康が関ヶ原の戦い後、五街道の制定など実現した事業の数々は、天才的。名古屋城の築城もその一つだ。	名古屋	美濃路8